

宮崎包括歯科臨床研究会(M.A.C.D.) 第2回講演会のご案内

宮崎包括歯科臨床研究会も4年目を迎え、会員の先生方もプレゼンができるようになってきました。”包括的歯科診療も基礎治療の積み重ね”という考えのもと、日々臨床に取り組んでおります。

今回、もう一度基礎をしっかりと学び臨床に活かしたいとの思いから2012年のクインテッセンスに「エンドのバイオロジー」を連載された吹譯景子先生をお招きし、”治癒の病理”を学ぶとともに包括歯科臨床のケース、さらには総義歯に至るまで幅広く研鑽する機会を得ましたので、ともに学びたいと思う先生方にご案内させていただく次第です。

宮崎包括歯科臨床研究会主宰 小椋康平

<プロフィール>



吹譯 景子 (ふきわけ けいこ)

- * 1976年 福岡県糟屋郡、祖父の代から続く「高橋歯科医院」に生を受ける。
- * 小学生の頃、塾でまとめたノートを褒められ「**分かりやすいね!**」という言葉が**大好物**になる。
- * 高校時代は「**遺伝子**」が大好きで、**生物の先生になりたい**とっていた。
- * 大学は父親からの激しいプレッシャーを逃れ「雪国に行こう!」と日本歯大 学新潟歯学へ入学。
- * 大学卒業後福岡へ戻り、父が所属していた九州大学第一補綴科 (Cr&Br) へ研修医として入局。
- * 「何か遺伝子に関わる研究がしたい」と口腔病理学教室で大学院生となり、マウスとともに「**歯の発生に関わる遺伝子の研究**」に明け暮れた。
- * そうこうしているうちに「30歳」の重圧に耐えきれず、補綴科の先輩と結婚。
- * **臨床は週2~3日、焦りもあり**「外科処置の早い人や全顎を扱っている人ができる先生だ!」と勘違いしていた。
- * そんな時、**元永三先生の「The Just Postgraduate Course」**を受講し「歯科医師としての精神論」と「**大切なのは方法論ではなく考え方!**」という言葉に激しく感銘を受ける。

- * 下川公一先生プロデュース Women Dentists Club (WDC) が発足。会長の林美穂先生より様々なプレゼンの機会を頂き、「もっと分かりやすく伝えたい」という思いから「基礎と臨床の架け橋になりたい」という夢ができる。
- * 35歳で男児を出産、つわりや産後クライシスと闘いながら「エンドのためのバイオロジー」を執筆。
- * 2年前、主人である院長と「ふきわけファミリー歯科」開院。「ファミリーの名が示すように、家族のような温かみをもって患者さんと真摯に向き合い、笑顔溢れるクリニックを作りたい」という信念のもと、共にがんばってくれるスタッフに感謝しながら、日々の診療に勤しんでいる。

<緒言>

元来、器用でも臨床経験が豊富でもない私は、「大切なのは方法論ではなく考え方」「考えずになんとか100人の治療をするよりも、じっくり考えて考えてひとりの患者さんに向き合う方が、どれほど力になるか」という師匠のお言葉に、ずっと励まされてきました。

そのお言葉を胸に、もともと好きだった「基礎医学」を臨床に活かし、「なぜこうなったのか?」「どうすれば改善されるのか?」考えることで、見えてきたこと、そこから繋がっていったことが沢山あります。

今回「基礎医学の面白さを臨床に即して分かりやすく伝えたい」という想いが伝わり、このような素晴らしい機会を頂きましたことを、とてもありがたく光栄に思っております。

少しでも、先生方の明日からの臨床にお役立て下されば嬉しいです。

<タイムスケジュール>

- * 自己紹介 ～基礎と臨床の架け橋に～
- * とっつきやすい「歯の発生学」のはなし ～再生は発生の再現である～
- * エンドのためのバイオロジー : ザ・クインテッセンス2012年奇数月 掲載
- * 顎運動で評価する全顎治療 : 日本歯科評論 2014年10月号 掲載
 ☞ New dawn Dentist Conference (NDC:スタディーグループの枠を超えた若手発表会) にてWDC代表として発表
- * 『変わる! 義歯治療』 ～咀嚼筋群が全身に与える影響を考察する～
 ☞ 日本顎咬合学会支部会

日時： 平成28年9月17日（土） 14:00～17:30

会場： 宮崎市民プラザ 4F 中研修室

参加費：2000円 ※当日会場にてお支払ください。

申込先：コーヘイデンタルオフィス Tel:0985-89-5992 Fax:0985-89-5932

小椋康平まで

*会場の関係もありますので、事前の申し込みをお願いいたします。